

ナブテスコ株式会社

2025年12月期第2四半期 決算説明会資料

2025年8月6日
代表取締役 社長 CEO
木村 和正

当社は7月31日に「油圧機器事業の会社分割（簡易吸収分割）ならびにComer Industries S.p.A.との株式譲渡契約および株主間契約締結について」を公表しています。

本日の説明資料については、当該リリースに関する業績影響を含まずご説明します。

当該リリースの業績影響についてはP16～23の「油圧機器事業の会社分割について」をご参照ください。

また、第3四半期以降は「油圧機器」を非継続事業として開示する予定です。

2025年12月期 上期実績

前年同期比 増収増益

連結売上高：1,656億円（+8.6%） 連結営業利益：106億円（+65%）

- 増収事業：精密減速機（+59億円） 鉄道車両用機器（+32億円） 舶用機器（+20億円）
- 増益セグメント：TRS（+17億円） CMP（+12億円）

2025年12月期 通期計画

*会社分割影響含まず

期首計画比 増収増益 好調な上期実績を踏まえ、通期計画を上方修正

連結売上高： 3,440億円 （期首計画比 + 2.4%）

連結営業利益： 223億円 （期首計画比 +19.3%）

- 増収事業：精密減速機（+40億円） 舶用機器（+22億円）
- 増益セグメント：CMP（+17億円） TRS（+16億円）

トピックス

- Project 10は予定通り進捗
- 米国関税影響は限定的
- 好調な業績を背景に100億円分の自己株式取得を決定
- 油圧機器事業の会社分割に関する業績影響は2025/3Qに発現見込み

2025年12月期 上期実績

■前年同期比、計画比ともに増収増益。MRO売上の増加やProject 10による利益改善施策遂行により利益率が大幅に改善

(単位：億円)	2024/12 上期実績 (A)	2025/12 上期(2/12)計画 (B)	2025/12 上期実績 (C)
売上高	1,525	1,610	1,656
営業利益	64	68	106
(営業利益率)	4.2%	4.2%	6.4%
金融損益	10	-3	-5 ^{*1}
持分法投資利益	4	8	-0 ^{*2}
税引前利益	78	73	101
親会社に所属する当期利益	42	43	65
一株当たり当期利益（円）	35.01	35.80	54.20
中間配当（円）	40	40	40

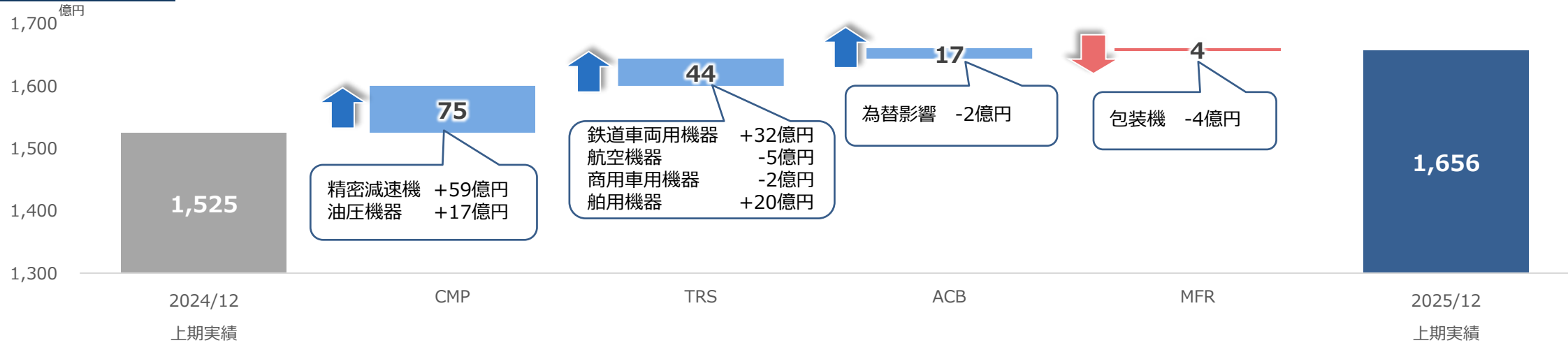
前年同期比 増減額 (C-A)	上期計画比 増減額 (C-B)
131	46
42	38
2.2pt	2.2pt
-15	-2
-5	-8
22	28
23	22

*1 金融損益は為替差損によるマイナスです。

*2 2025/12 上期の持分法投資利益は、主にTMTマシナリー社の業績悪化によるものです。

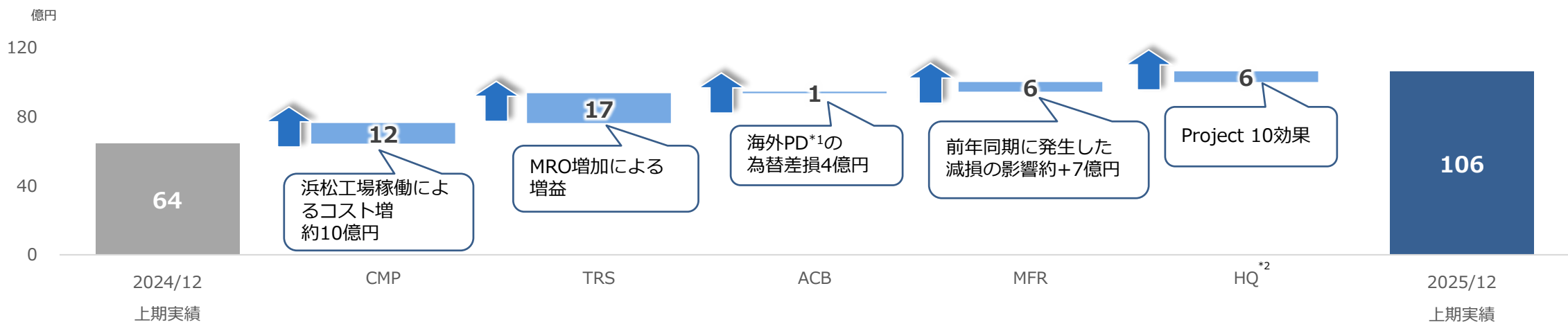
売上高

■ CMP、TRS、ACBで需要が増加し増収



営業利益

■ 増収効果や、Project 10による収益性改善活動の効果もあり増益



*1: Platform doors

*2: 全社又は消去

■ BSに大きな変化なし。現預金の増加は運転資金の増加および配当の支払いに向けた借入金の増加によるもの

(単位：億円)	2024/12 期末 2024年12月31日	2025/12 上期末 2025年6月30日	差異
資産	4,455	4,483	27
（現預金等）	745	872	127
（売上債権）	921	749	-172
（棚卸資産）	534	586	52
（非流動資産）	2,165	2,184	19
負債	1,583	1,611	28
（借入金）	319	441	122
資本	2,873	2,872	-1
（非支配持分）	172	163	-9
親会社の所有者に帰属する持分	2,701	2,709	8
親会社所有者帰属持分比率：	60.6%	60.4%	

2025年通期計画見直し

■ 市場環境に大きな変化はないものの、米国関税政策により先行き不透明

事業			市場環境	市場動向 (期首予想) ⇒ (下期予想)
CMP	精密減速機		産業用ロボット向け需要は中国で一部EV関連の動きあり 主要国の関税率交渉が決着したことから下期需要回復を期待	 ⇒ 
	油圧機器		中国市場は国内向けは底打ち、輸出向けは好調も、欧州市場は 需要が停滞	 ⇒ 
TRS	鉄道車両用機器		国内市場は新車向け需要が回復。海外での新規案件も増加。各地で車両延命 の傾向がありMRO需要も堅調	 ⇒ 
	航空機器		防衛向け需要は防衛予算拡大の影響を受け大幅に増加 民間航空機向け需要は新機・MRO需要ともに堅調	 ⇒ 
	商用車用機器		国内市場は物流業界での運転手不足等の影響があり需要停滞傾向 東南アジア市場の経済停滞等による需要減少	 ⇒ 
	船用機器		中国・韓国をはじめとした高い新造船需要や、好調な海運市場によりMRO向 けも好調	 ⇒ 
ACB	自動ドア		建物用ドア：国内市場は都心再開発等により好調な需要継続 欧米市場は成長鈍化で新規需要は停滞も更新需要が堅調 プラットホームドア（PD）：バリアフリー法もあり国内の需要好調継続	 ⇒ 
MFR	包装機		食品メーカーを中心に自動化・省人化の高いニーズはあるものの、 海外では米国関税影響による景況感の悪化を受け低調	 ⇒ 

■ 好調な上期業績を背景に通期計画を上方修正。資本効率を意識した自己株式の取得を決定

(単位：億円)

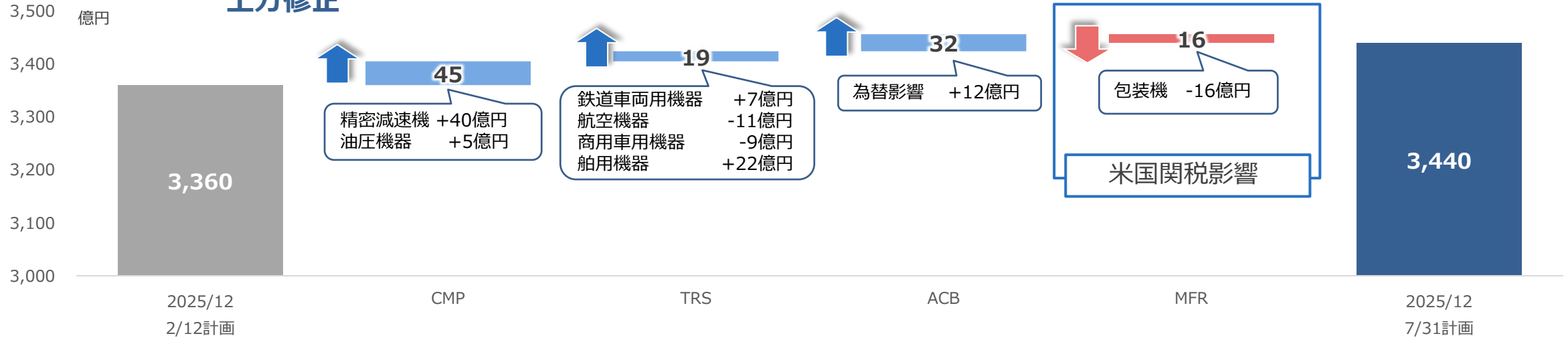
	2024/12 通期実績 (A)	2025/12 通期計画(2/12) (B)	2025/12 通期計画(7/31) (C)
売上高	3,234	3,360	3,440
営業利益	148	187	223
(営業利益率)	4.6%	5.6%	6.5%
金融損益	2	-7	-10
持分法投資利益	7	17	11
税引前利益	157	197	224
親会社に所属する当期利益	101	131	146
一株当たり当期利益（円）	84.25	109.07	122.43
ROIC	3.4%	4.1%	5.0%
1株当たり配当金（円）	80.00	80.00	80.00
DOE	3.6%	3.6%	3.7%
(配当性向)	95.0%	73.3%	65.3%

前年同期比 増減額 (C-A)	通期計画比 増減額 (C-B)
206	80
75	36
1.9pt	0.9pt
-12	-3
4	-6
67	27
45	15
38.18	13.36

※上記計画は会社分割の影響を含んでいません。自己株式取得の影響は加味しています。

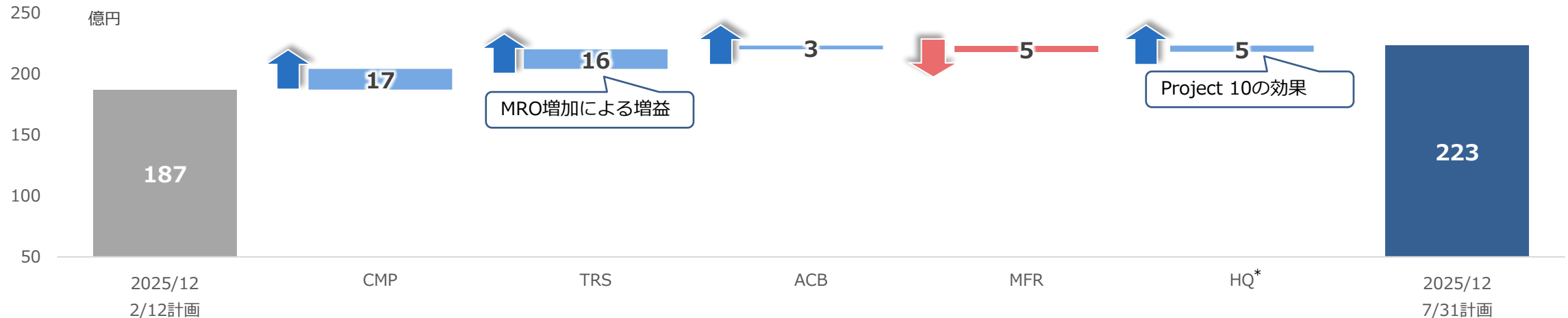
売上高

■ 米国関税による影響はあるものの、CMPやACBにおける好調な上期売上や、為替効果を踏まえ通期計画を上方修正



営業利益

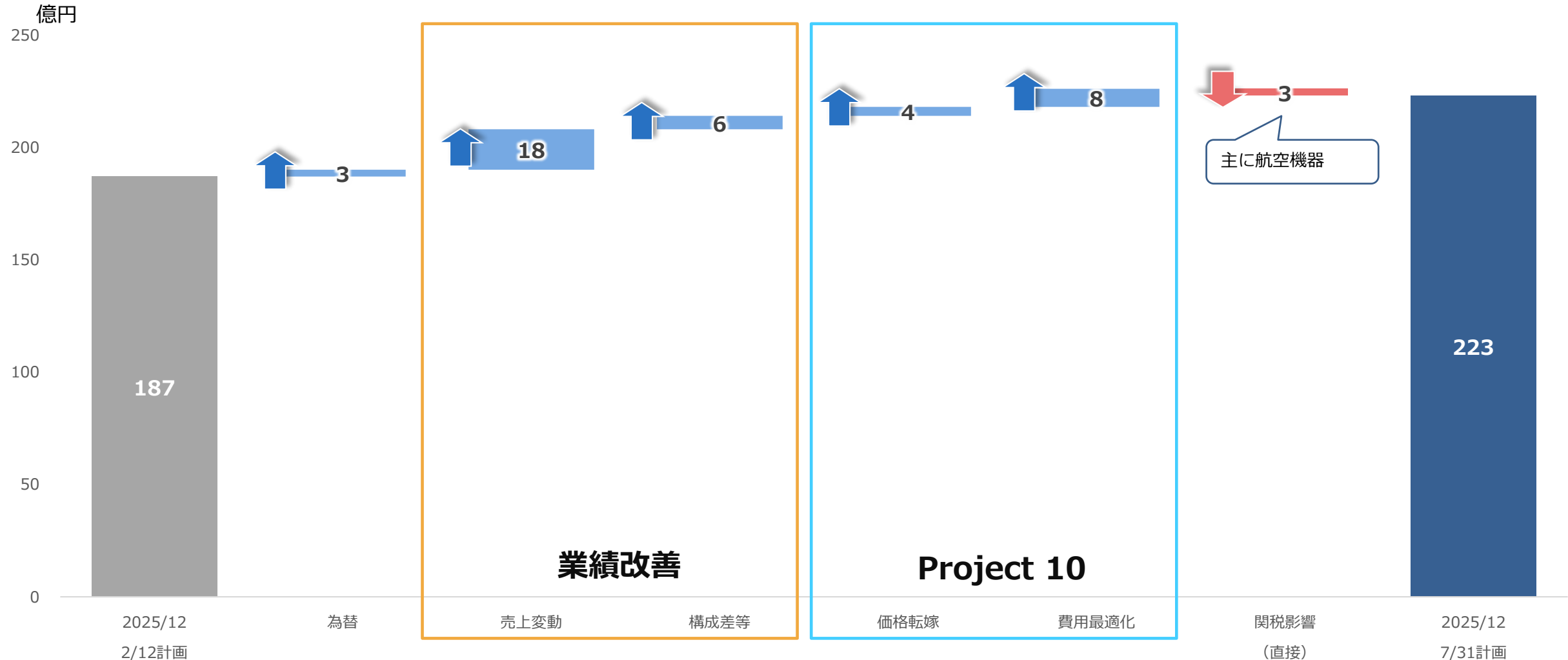
■ 上期の好調な実績をうけ、通期計画を上方修正



※上記計画は会社分割の影響を含んでおりません。

*: 全社又は消去

- 増収による増益に加え、費用抑制や追加の価格転嫁により利益計画を引き上げ
米国関税（10%/2Q、15%/8月～）の影響は、価格転嫁や商流変更を行うことで、最大で3億円に抑える



中期経営計画の還元方針

DOE 3.5%を目安とした安定配当および機動的な自社株買い

自己株式取得の背景

1. 好調な業績による営業キャッシュフローの増加見込み

当初計画比 約75億円増

2. 投資効率化による投資キャッシュフローの圧縮等による期末余剰資金増加見込み

当初計画比 約25億円増

合計100億円
活用可能資金

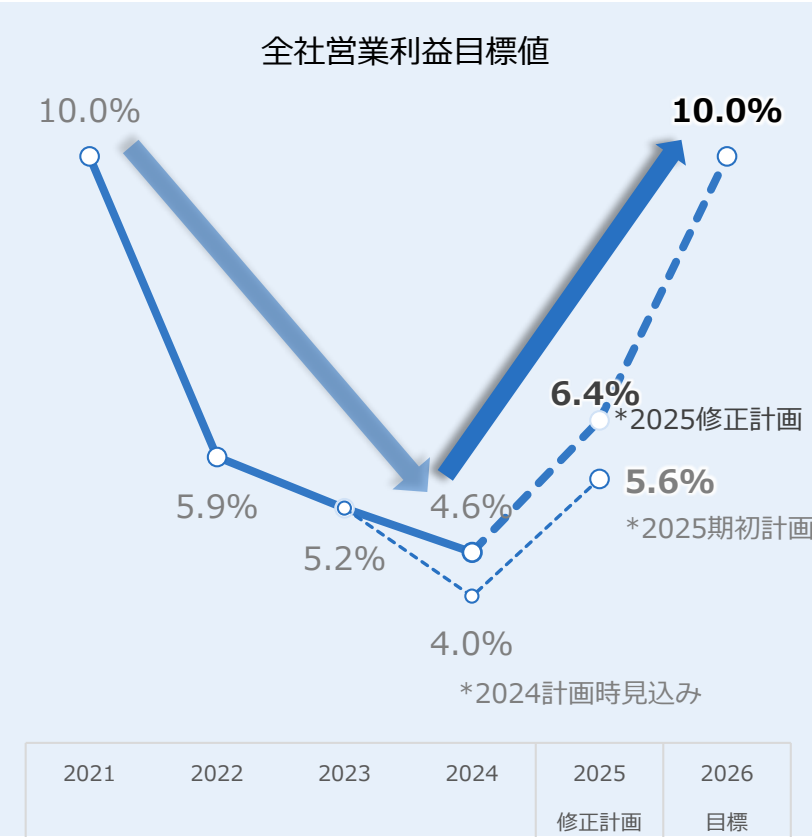
取得の概要

- 期間 2025年8月1日～2025年12月30日
- 総額 100億円（上限）
- 総数 400万株（上限）
- 方法 市場買付け

※今回取得した自己株式の全数を今期中に消却予定

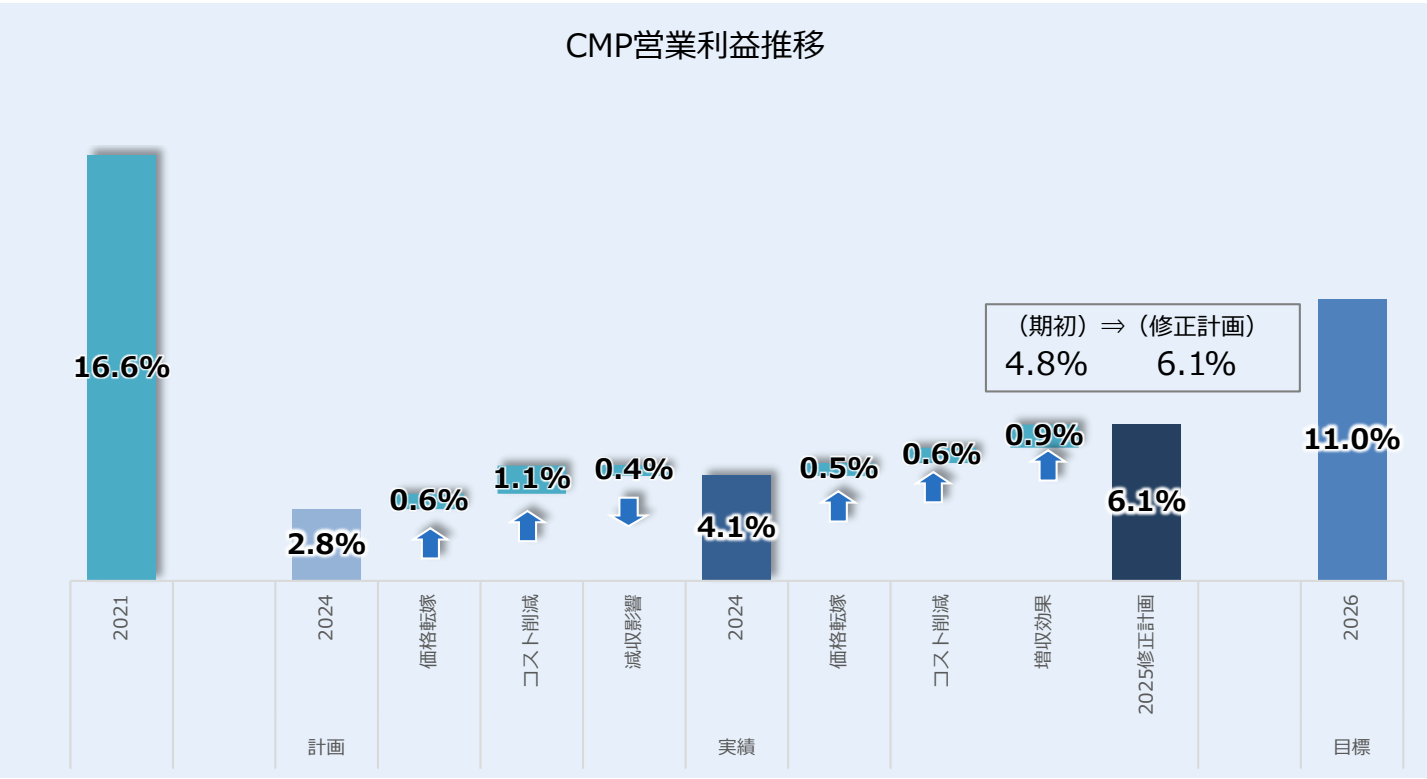
全社

予定以上に進捗し、2025年修正計画では全社営業利益率で
期初計画比+0.8%の6.4%を見込む。



コンポーネントソリューションセグメント

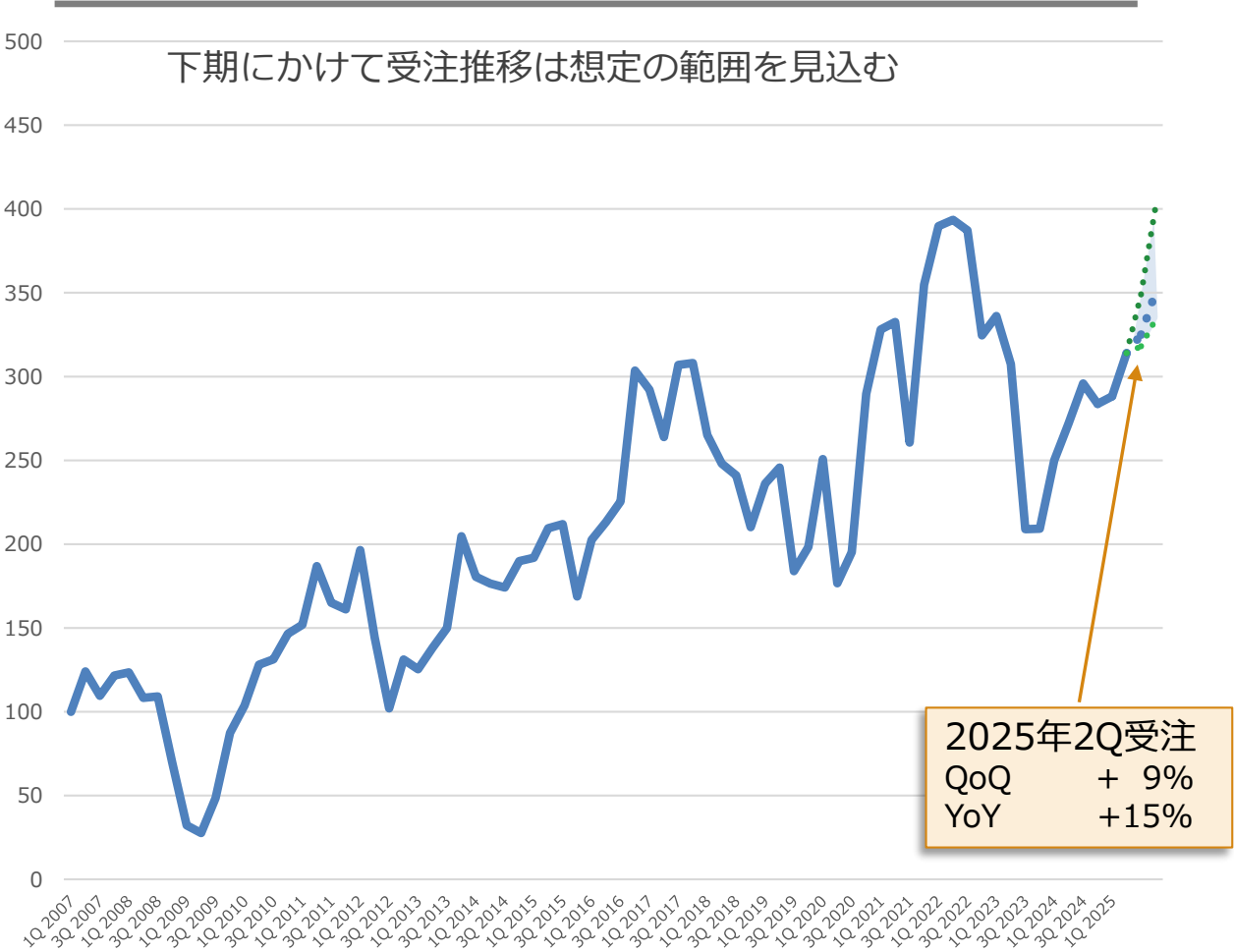
価格転嫁/コスト削減もあり2025年修正計画でのCMPの営業利益率は計画比+1.3%の6.1%を見込む。
2025年は、期初計画をやや上回る進捗
下記には、今回の会社分割の影響は含まず（会社分割を織り込むと営業利益率は6.8%に）



*増収効果には生産性の改善を含む

■ 2025年2Qの受注は2 四半期連続で回復。下期の本格回復に期待

精密減速機 受注推移

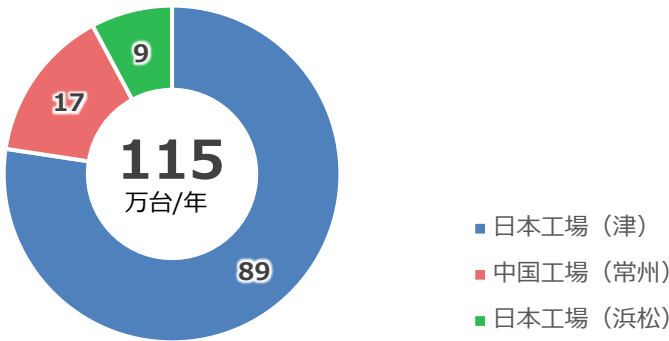


2007年1Q受注を100とした指数

生産能力と稼働率

■ 生産能力

2024/3Q～現時点



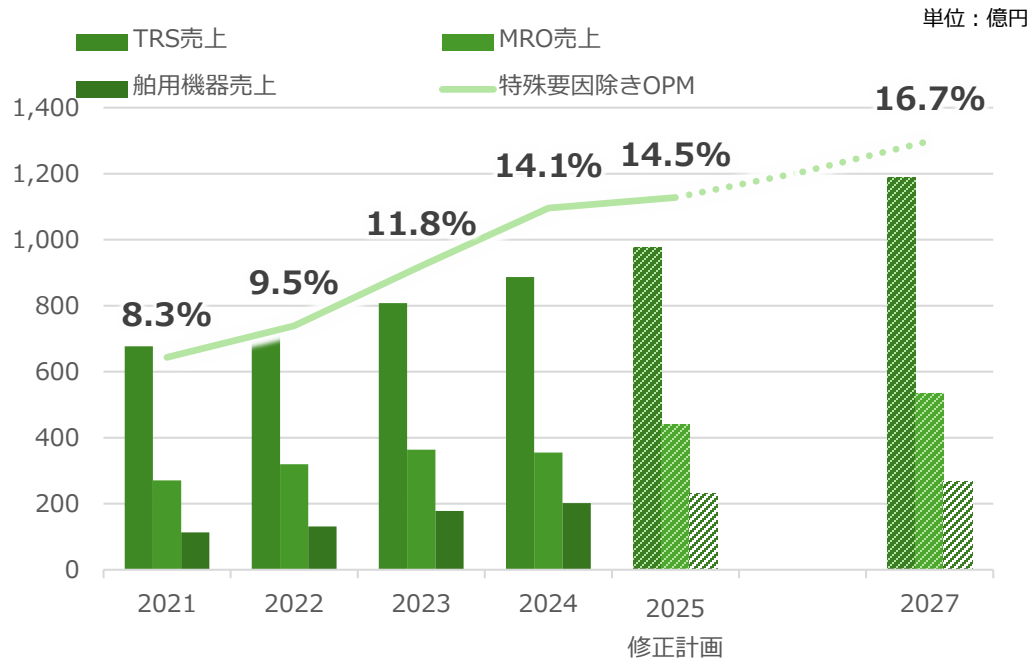
■ 各工場の稼働状況

工場	稼働率	
	25/1Q	25/2Q
津工場（日本）	60%	65%
常州工場（中国）	95%	110%
浜松工場（日本）	徐々に生産数量拡大中	

↑ UP !
↑ UP !

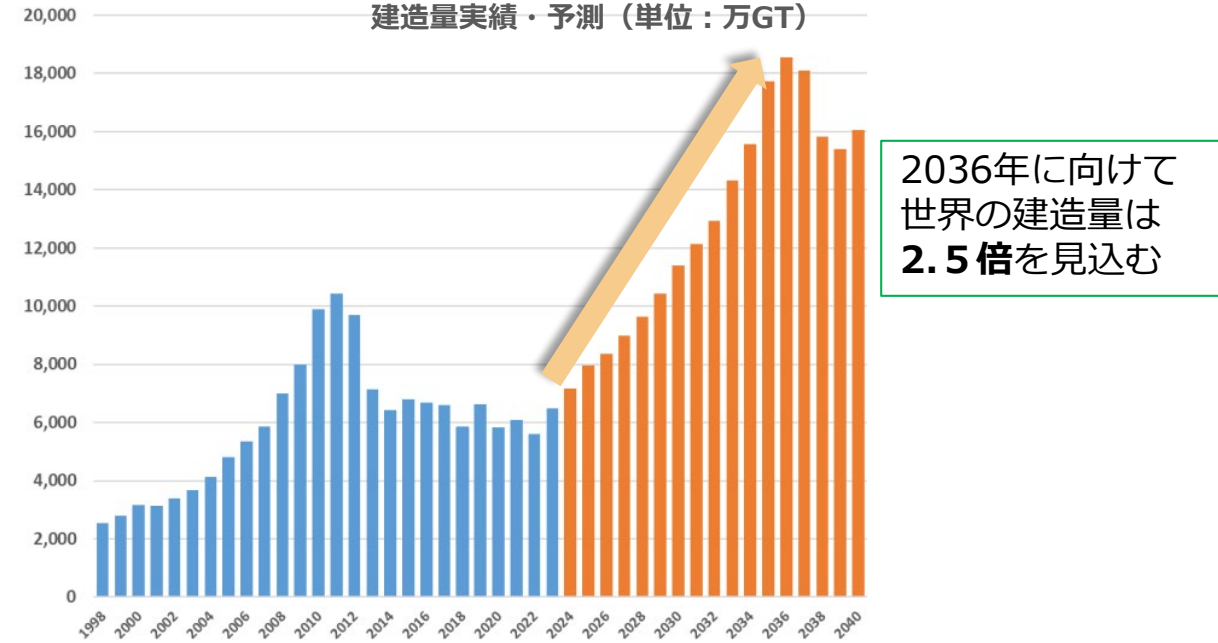
※上記稼働率は3直20日/月を前提に算出

TRS売上高・MRO売上高・営業利益率推移



- ・ TRS売上高成長率 10%
- ・ 舶用機器売上高成長率 15%

舶用機器の将来市場予測



出典：公益財団法人日本海事センター
「わが国および世界の海事産業・海事クラスターの動向」

■ 舶用機器事業の成長戦略

- ・ 市場成長に合わせた造船主要国（日本、中国、韓国）での製品体制の構築
- ・ 環境規制など、市場の変化に合わせた製品ラインナップの拡大による着実な売上拡大と、MRO獲得への種まき
- ・ 自社拠点およびグローバルな代理店網構築による24時間365日対応可能なサービス体制構築

油圧機器事業の会社分割について

当社のありたい姿

2030年ビジョン

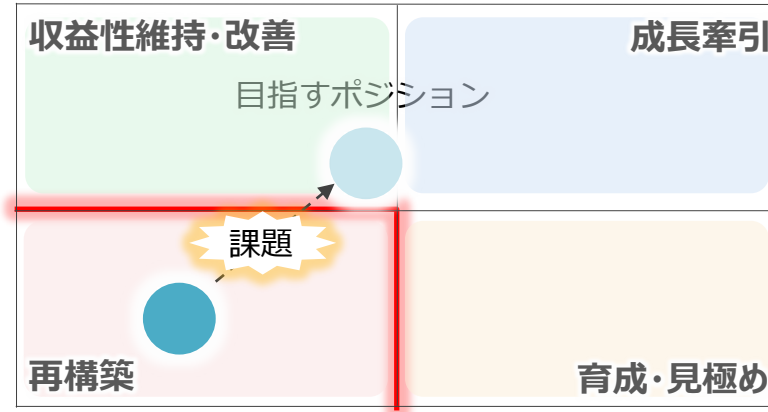
未来の“欲しい”に挑戦し続ける
イノベーションリーダー

Innovation In Action

中期経営計画（2025-2027） “再興”と“進化”

- 収益性の改善
- ポートフォリオバランスの最適化
- スマートモーションコントロールへの進化

事業ポートフォリオ上の油圧機器の位置づけ



- ・ 前中計から取り組む欧米市場や用途開拓での成果が限定的
 - ・ 当社の枠組み内での成長余地に限界
- ポテンシャルを活かしきれていない

【現状】

- ・ 2022年以降中国の建機市況は悪化
- ・ 中国建機メーカーの内製化や中国油圧機器メーカー台頭による競争激化
- ・ インフレによる収益性悪化

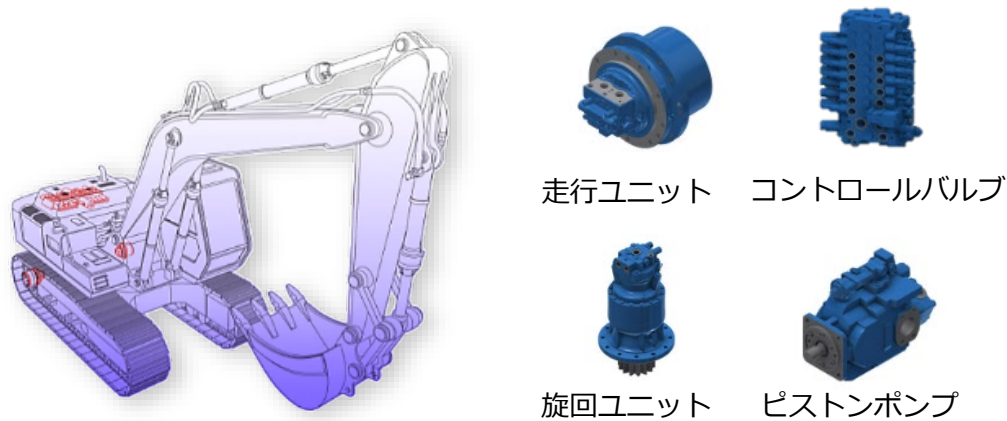
- ・ 市場は成熟期に入り、オーガニックの成長は限定的
 - ・ 欧米・非油圧シヨベル市場開拓遅れ
- 戦略的なパートナーが必要

- ・ 油圧機器事業のポテンシャルを最大限に生かせるベストオーナーを探索
- ・ 当社リソースのSMC*分野への集中をはかる

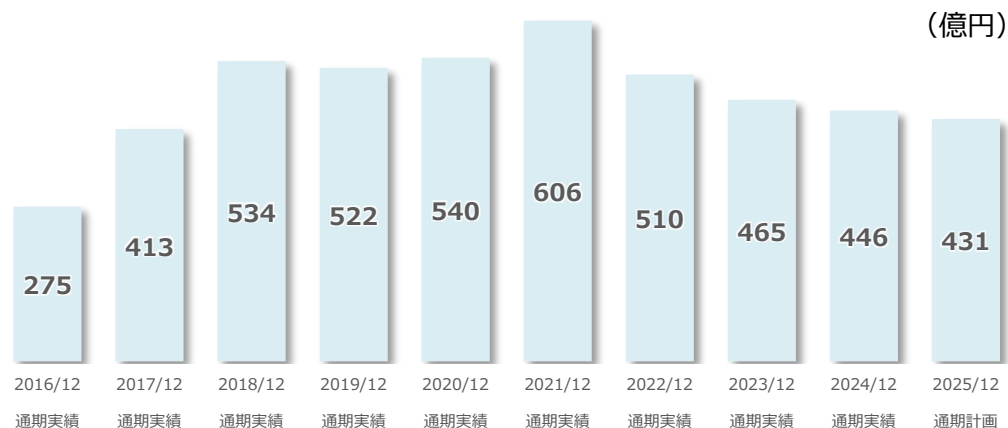
*SMC : Smart Motion Control

コンポーネントソリューションセグメント 油圧機器事業

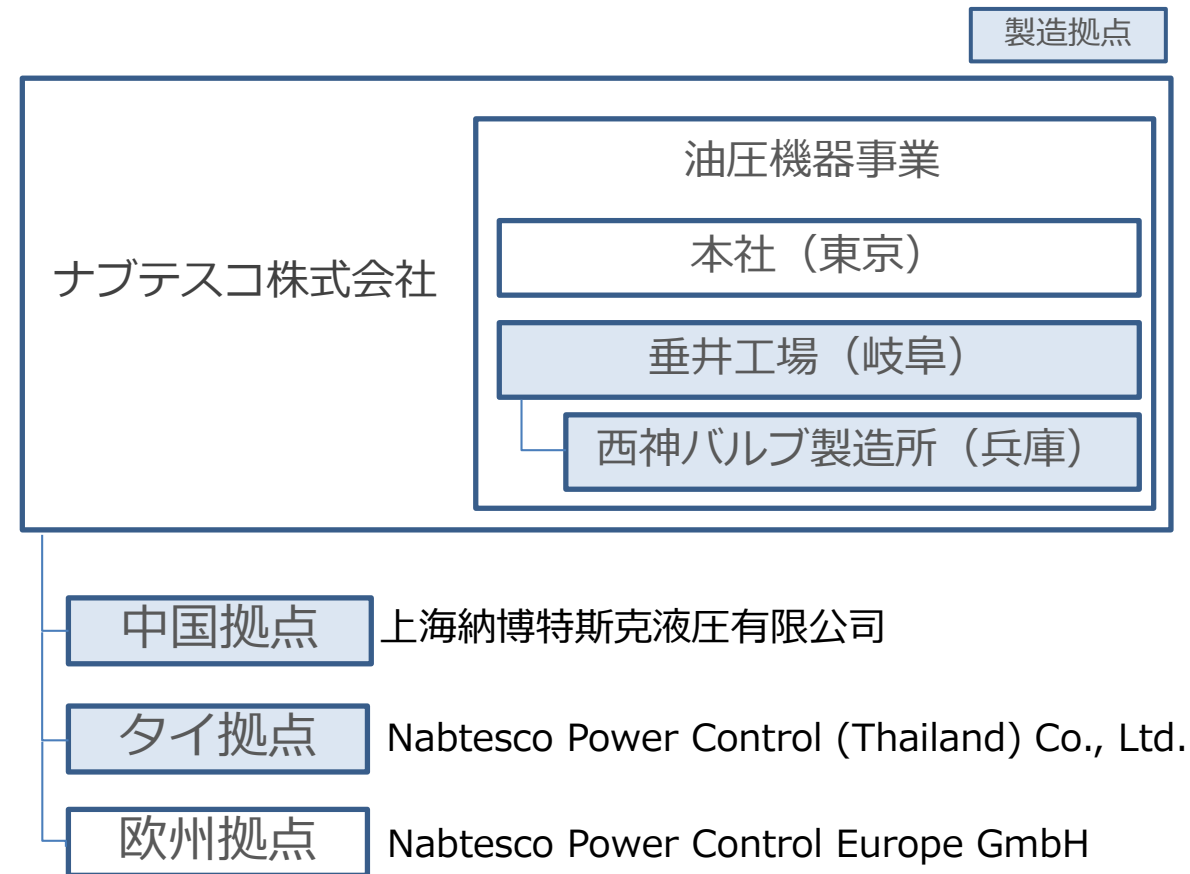
製品ラインナップ



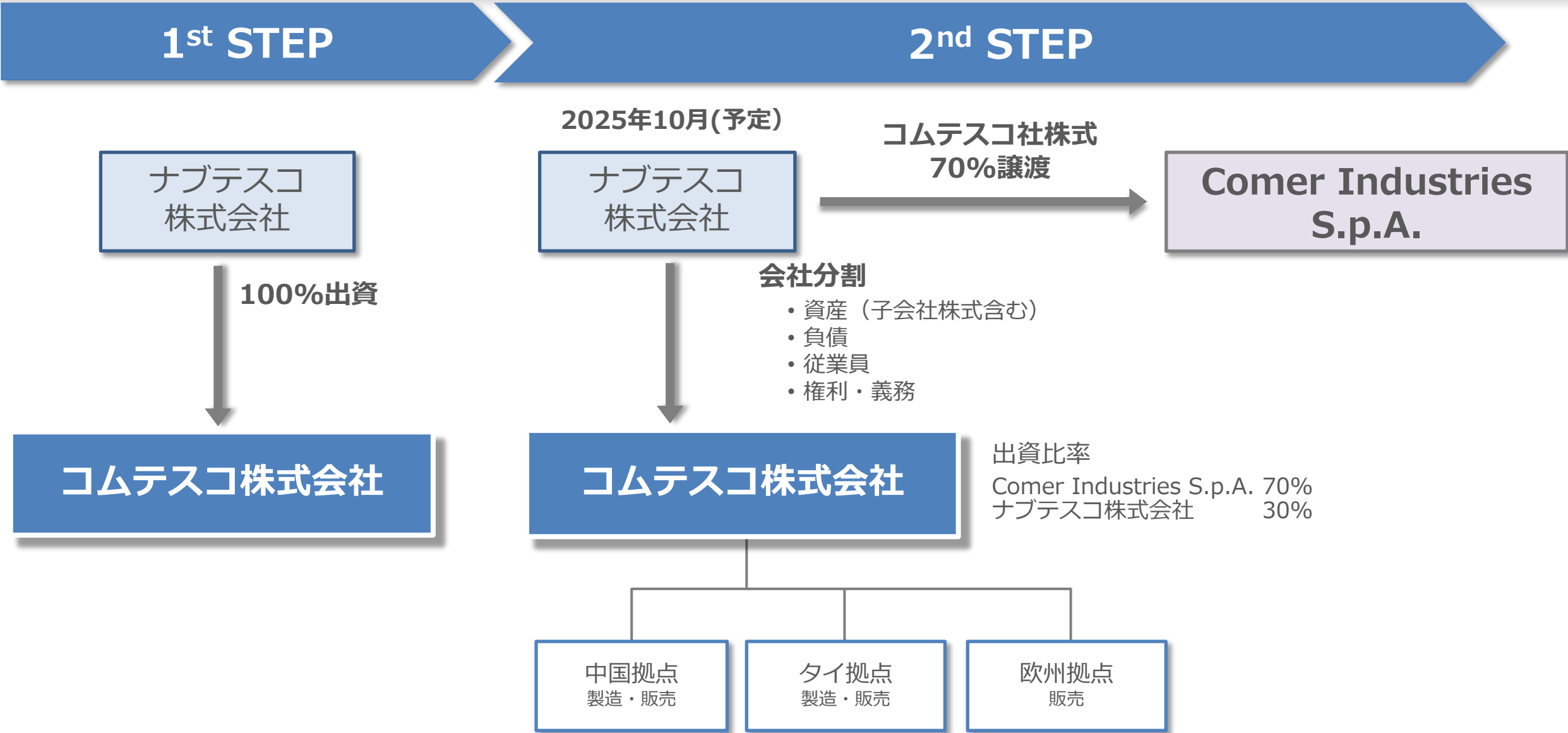
売上実績および計画



拠点および従業員数



単体従業員数:308名 連結従業員数:669名(2024年12月末現在)

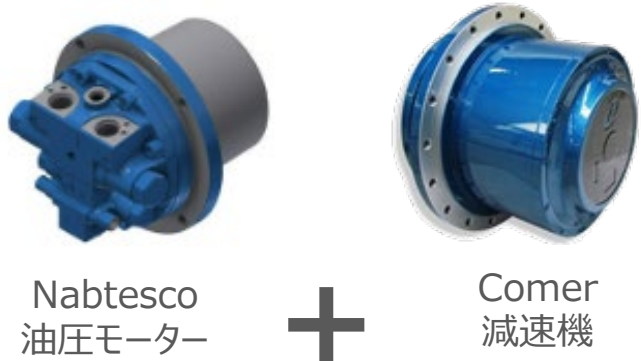


● 会社概要



企業名	Comer Industries S.p.A.
業種	製造業
代表者	Matteo Storchi, President & CEO
住所	Via Magellano, 27, 42046 Reggiolo, Italy
URL	https://www.comerindustries.com
設立年月日	1970年
上場年月日	2019年3月13日
主要取引市場	ユーロネクスト・ミラノ
資本金	18百万ユーロ (2024/12期)
売上	949百万ユーロ (2024/12期)
従業員数	3,171人 (2024/12末 連結)

● ナブテスコとの協業状況 (2017年～)



● 製品・アプリケーション

✓ Agriculture (農業)、Industrial (一般産業) 向け、ギアボックス、減速機、ドライブシャフト、電動機器
ギアボックス ドライブシャフト 車軸 遊星歯車装置 トラクタ機器 電動機器 ドライブシャフト



草刈り機 耕運機 トラクター コンクリートミキサー車 ロードローラー 林業フォワーダー 高所作業車



● 拠点



- 製造
 - ✓ Comer | イタリア5、中国1、インド1
 - ✓ e-comer | イタリア2
 - ✓ Walterscheid | ドイツ3、米国1、ブラジル1
 - ✓ Powertrain Rockford | 米国1
- 販売
 - ✓ Comer | 米国1、英国1、ブラジル1
 - ✓ Walterscheid | 日本1 (松井製作所とのJV)
- アフターサービス
 - ✓ Walterscheid | オーストリア1、オランダ1、フランス1、スウェーデン1、英国1、ロシア1
 - ✓ Off-Highway Powertrain Services | ドイツ7

2025年12月期計画

(単位：億円)

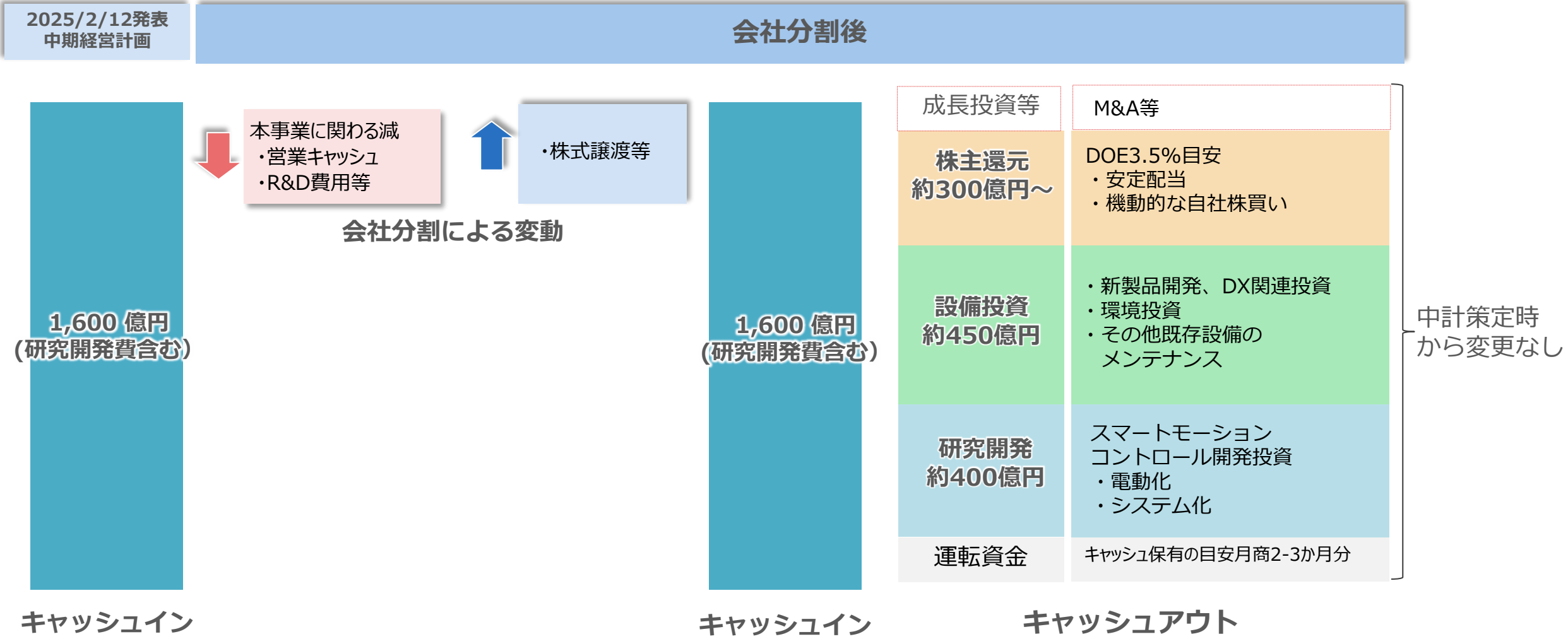
	2025/12 通期計画(2/12) (A)	2025/12 通期計画(7/31) 会社分割事業含む (B)	2025/12 会社分割後 通期計画 (7/31) 会社分割事業除く (C)
売上高	3,360	3,440	3,007
営業利益	187	223	208
(営業利益率)	5.6%	6.5%	6.9%
税引前利益	197	224	208
親会社に所属する当期利益	131	146	149
一株当たり当期利益 (円)	109.07	122.43	124.95
ROIC	4.1%	5.0%	4.6%

2/12計画比 増減額 (C-A)	修正計画比 増減額 (C-B)
-353	-433
21	-15
1.3pt	0.4pt
11	-16
18	3
15.88	2.52
0.5pt	-0.4pt

*1 (C)当該会社分割等の損益等の影響を織込んだ連結業績予想は、以下のとおりです。株式譲渡予定日（2025年10月末予定）から期末日までの売上高及び各利益が減少することに加え、IFRS第5号に基づき同事業を非継続事業に分類し、同事業に係る期首から株式譲渡予定日までの売上高、営業利益、税引前利益について、非継続事業を除いた継続事業に係る金額に組み替えております。親会社の所有者に帰属する当期利益については、継続事業及び非継続事業の合算値としております。そのため1～12月の油圧機器事業の売上高、営業利益、税引き前利益は控除し、出資比率変更予定の11月以降、コムテスコ社からの持分法による投資損益を含めております。

*2 一株当たり当期利益は、本日公表の自己株式取得を前提として計算しております。

キャッシュイン：本件実施後の中期経営計画（中計）期間中の合計額は変化なし
キャッシュアウト：中計で実施する事項はすべて網羅されており、成長投資計画に変更なし



■本プロジェクトにより期待される効果

定性効果

- ・ 油圧機器事業は新しいオーナーのもとで**さらなる成長**が可能
- ・ ポートフォリオバランスの最適化を推進し、**レジリエントな企業基盤の構築**をはかる
- ・ 長期ビジョン実現に向けた**スマートモーションコントロール促進**のためにリソース集中

定量効果

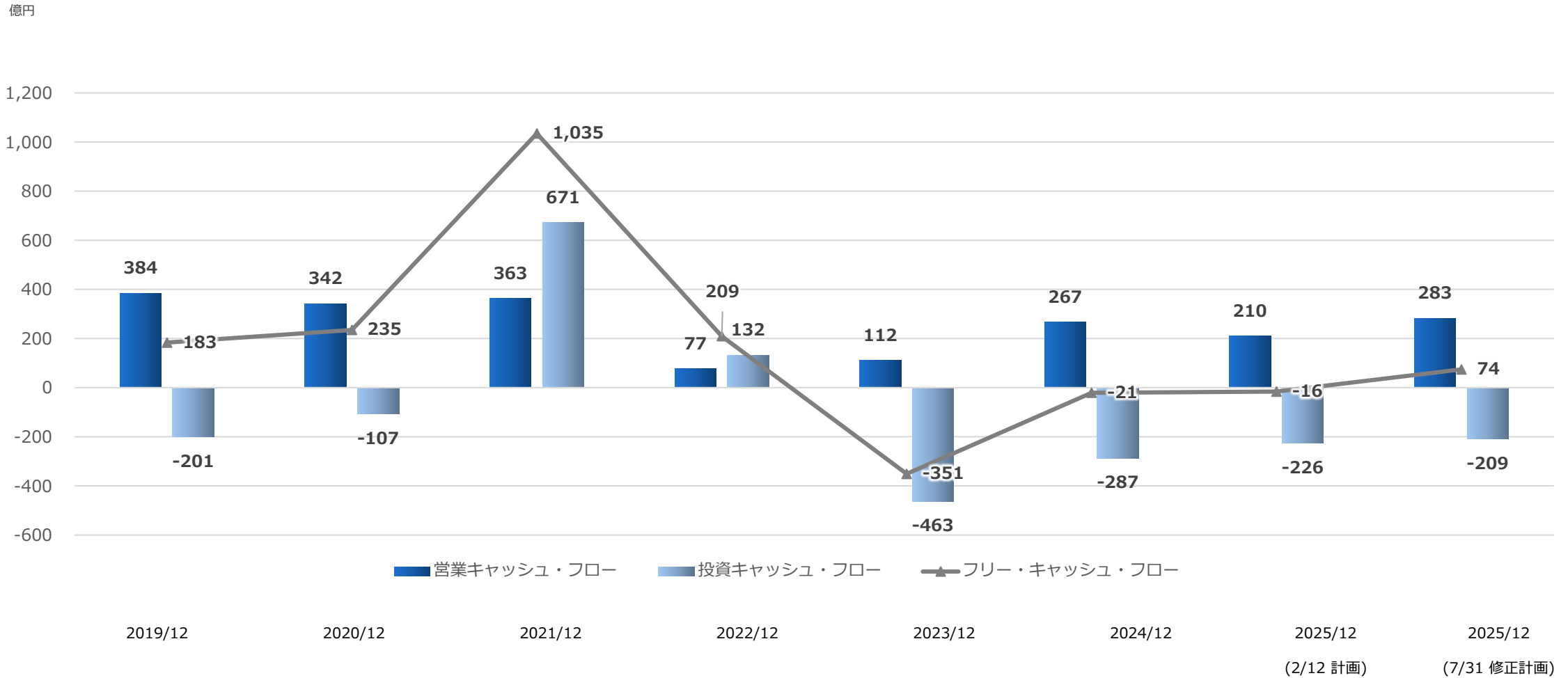
- ・ 営業利益率改善
 - 2025年度の全社営業利益率 分割前 6.5%⇒ 分割後 6.9%
 - 2025年度のCMP営業利益率 分割前 6.1%⇒ 分割後 6.8%
- ・ 資産の圧縮 資産合計 2Q末4,483億円⇒分割後 4,260億円

■今後の事業ポートフォリオマネジメントについて

- ・ 主要事業（油圧機器事業を除く）に関しては、中期計画の達成に注力
- ・ 上記以外でROICをベースとした社内評価基準をクリアしていない事業は、その達成に向けたプランを引き続き検討

Appendix

■ 3期ぶりにフリー・キャッシュ・フローがポジティブになる見込み

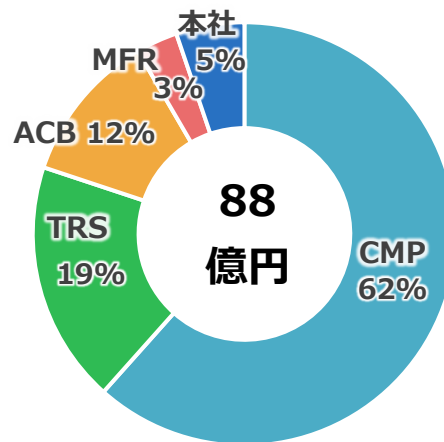


■設備投資は当初予定から変更なし

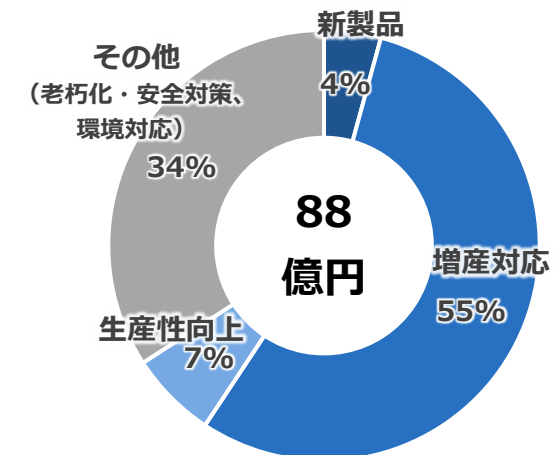
(単位：億円)	2024/12 上期実績 (A)	2025/12 上期実績 (B)	前年同期比 (B-A)
設備投資額	103	69	-34
研究開発費	56	56	0
減価償却費	78	88	10

2025/12 通期計画 7/31現在	2025/12～2027/12 中期経営計画期間
180	450
135	400
173	530

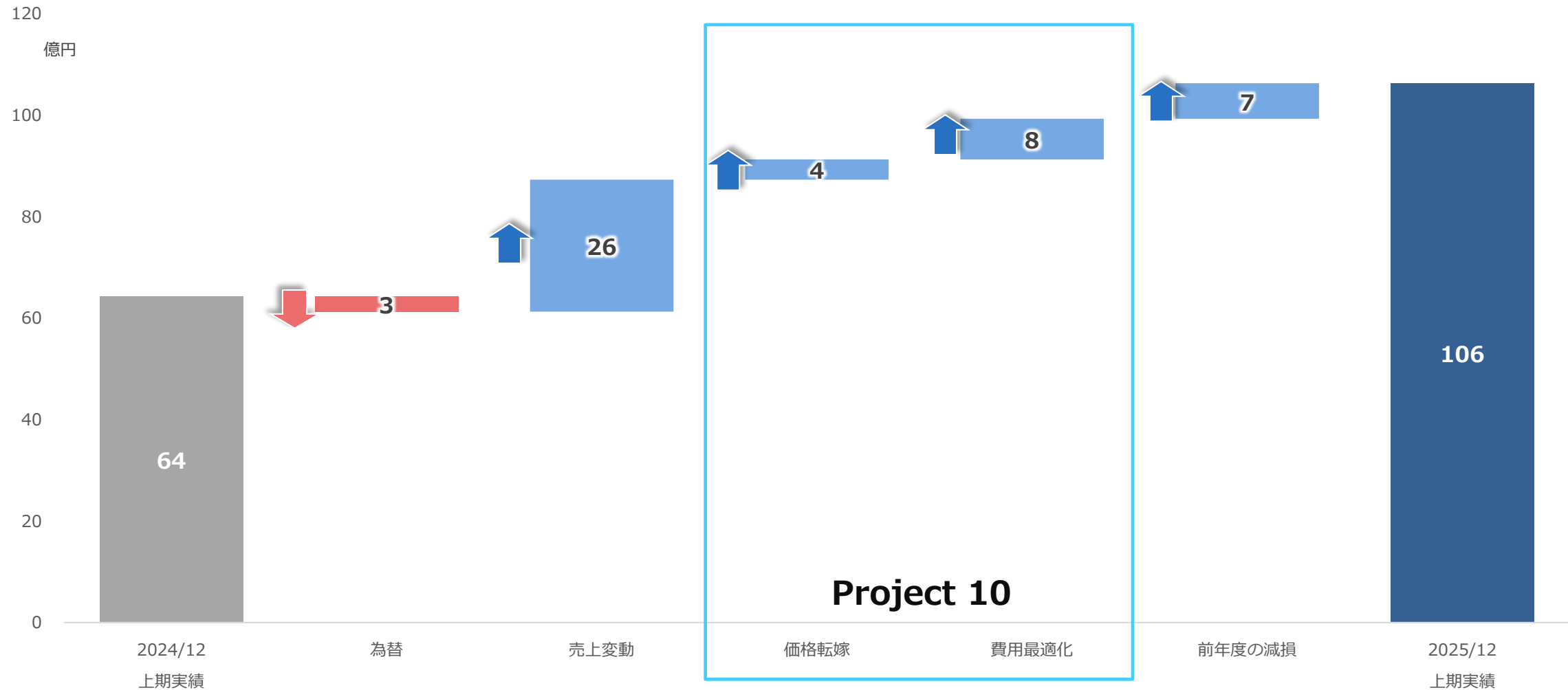
2025/12 上期実績



- 精密減速機
 - 浜松工場設備（前年度からの遅れ）
 - 設備更新
- 油圧機器
 - 垂井工場建て替え工事
 - 環境対応設備導入

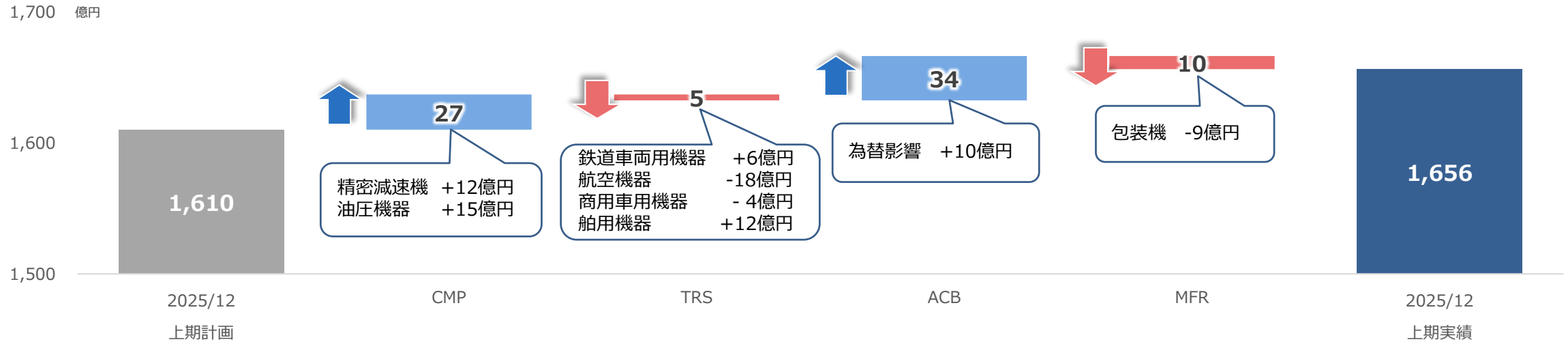


■ 増収による増益やProject 10の効果により増益



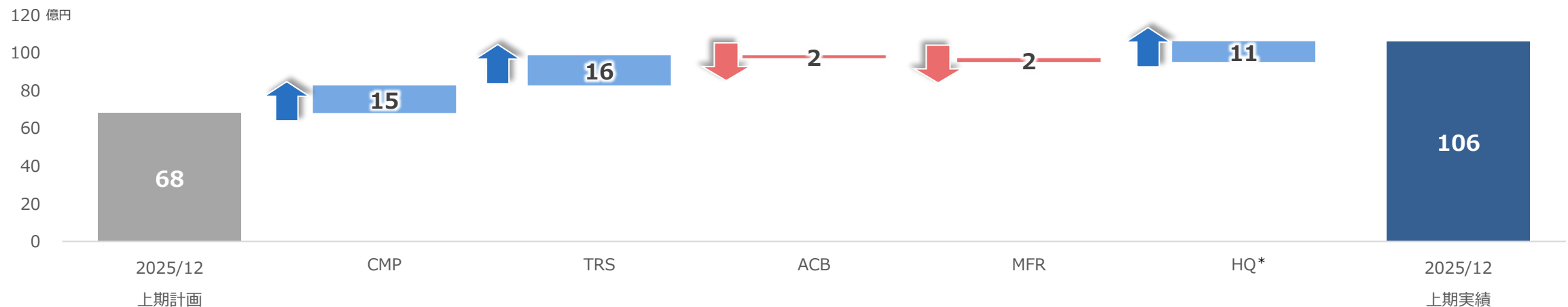
売上高

■ CMP、ACBで需要が増加し増収



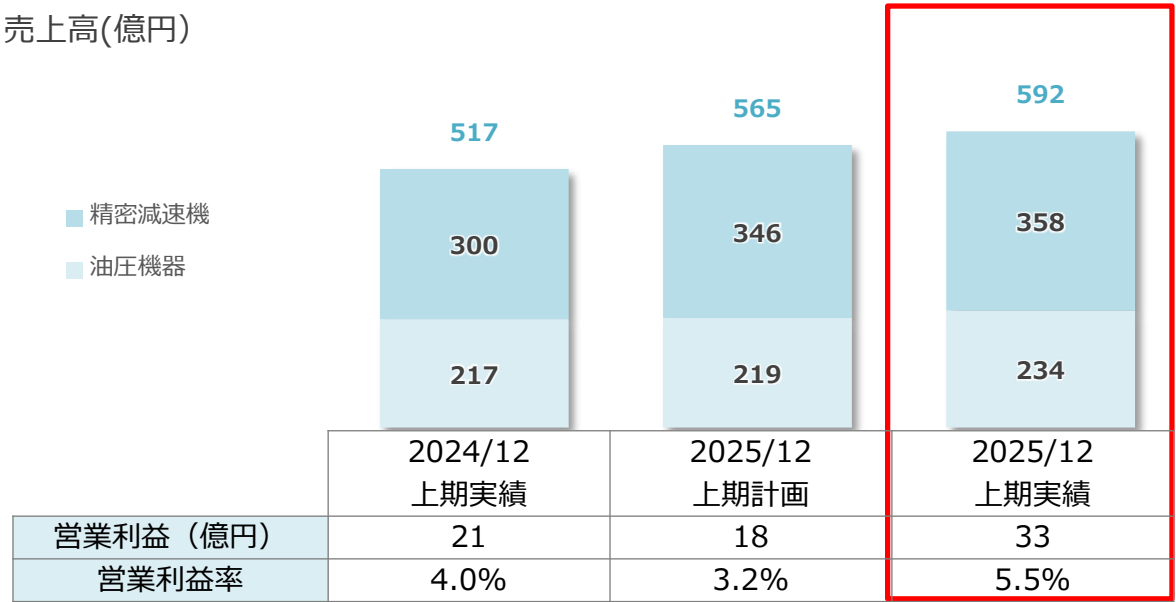
営業利益

■ 増収効果や、Project 10による収益性改善活動の効果もあり増益

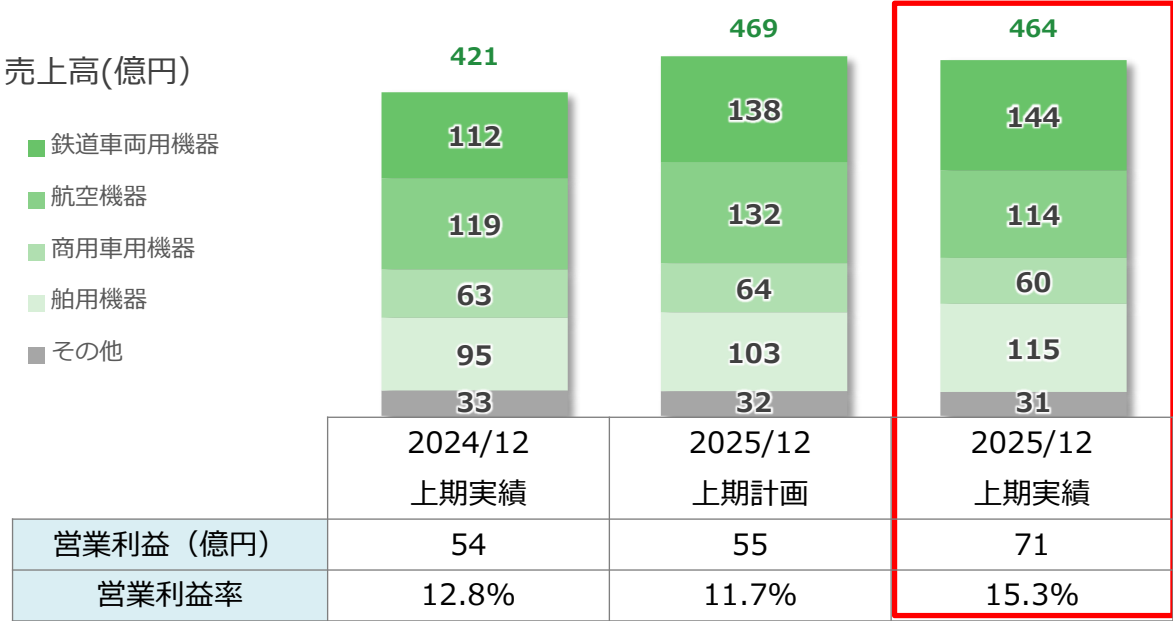


*: 全社又は消去

コンポーネントソリューションセグメント（CMP）



トランスポートソリューションセグメント（TRS）



【売上】

- ・精密減速機事業：
中国市場向けの産業用ロボット向けが好調なことに加え、為替効果により増収
- ・油圧機器事業：
一時的に中国からの輸出需要が好調に推移

【営業利益】

増収による増益に加え、Project 10も順調に進捗し増益

【売上】

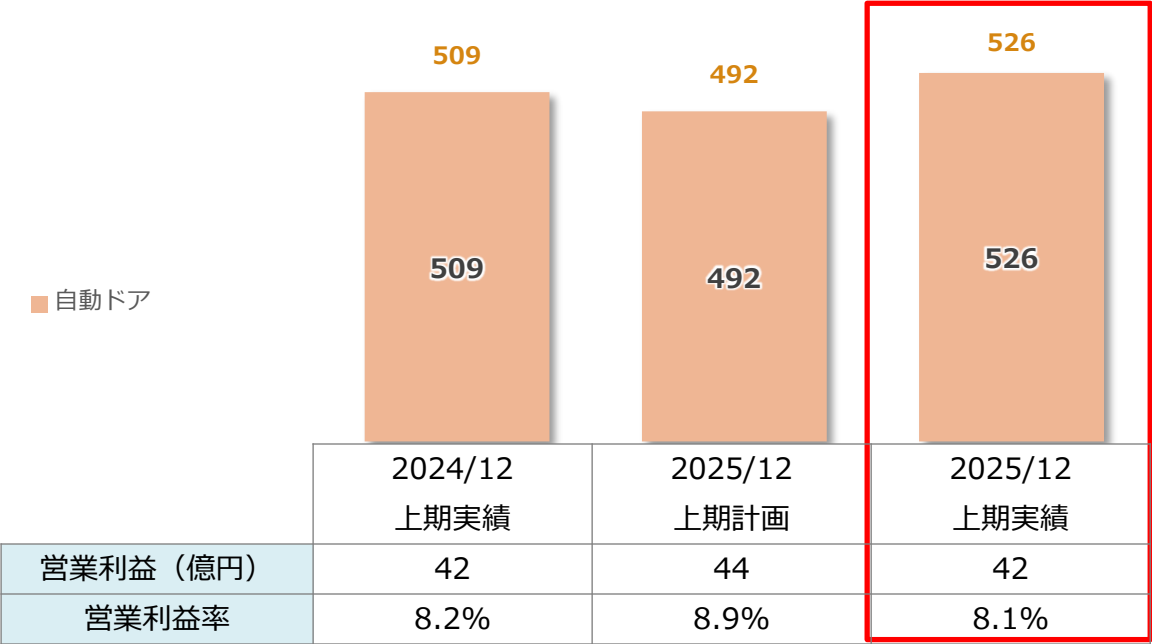
- ・鉄道車両用機器事業：
国内外のMROが想定よりも好調に推移し増収
- ・航空機器事業：
調達部品の遅れにより売上時期に遅れが発生し減収
- ・商用車両用機器事業：
東南アジアの市況が想定より弱く減収
- ・船用機器事業：
新造船・MROともに好調な需要を受け増収

【営業利益】

増収および売上構成の改善に加え、Project 10も順調に進捗し増益

アクセシビリティソリューションセグメント（ACB）

売上高(億円)



【売上】

・自動ドア事業：

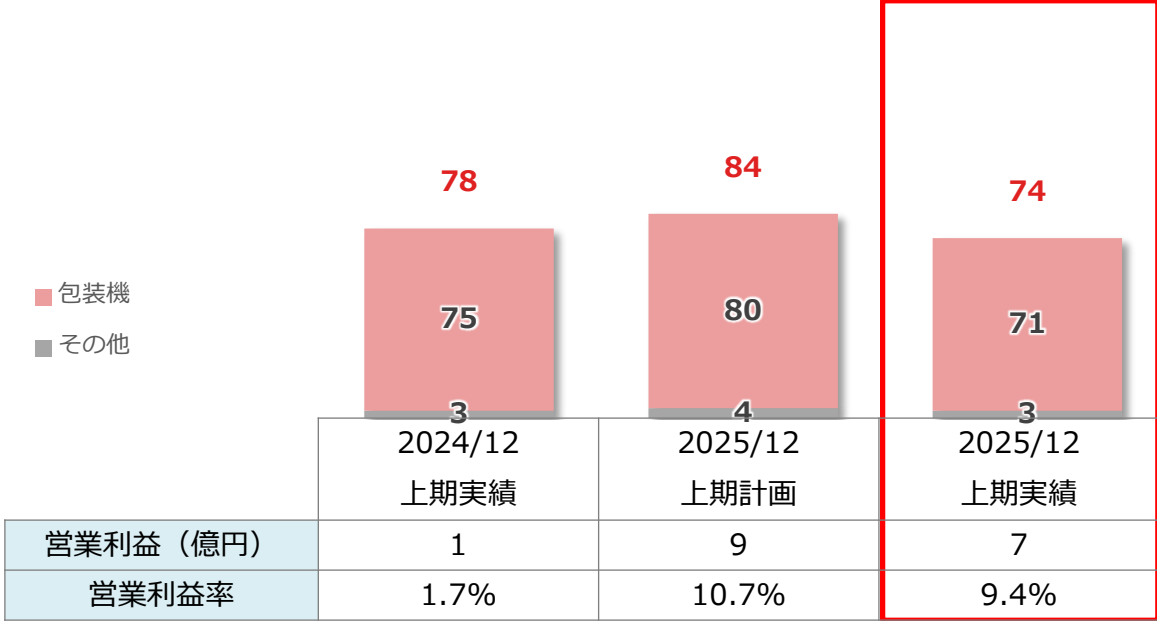
為替効果に加え、再開発案件を中心に国内建物用ドアおよびプラットフォームドアの需要が堅調に推移し増収

【営業利益】

スイスフラン高に伴う海外PDの評価損の影響で減益

マニファクチャリングソリューションセグメント（MFR）

売上高(億円)



【売上】

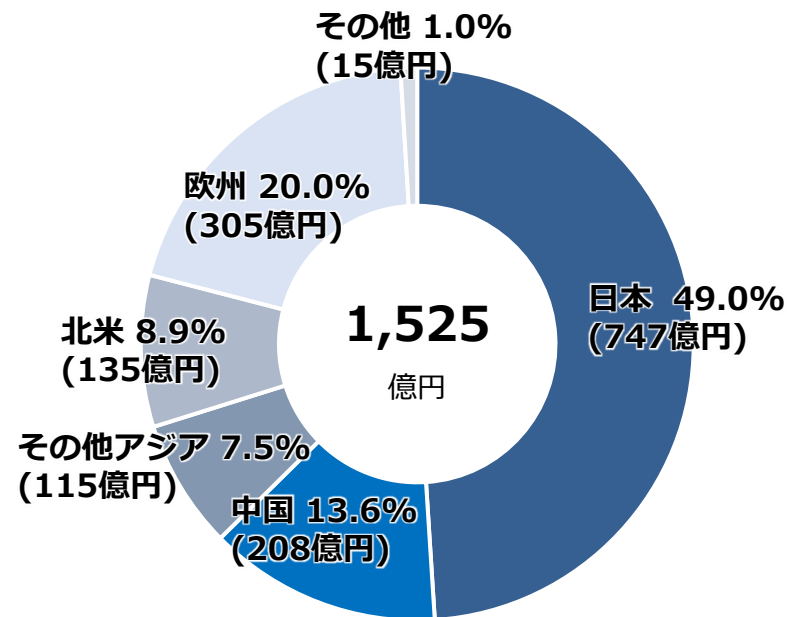
・包装機事業：

海外案件で投資時期の見直しが発生したことに加え、MROでの対応遅れが発生し減収

【営業利益】

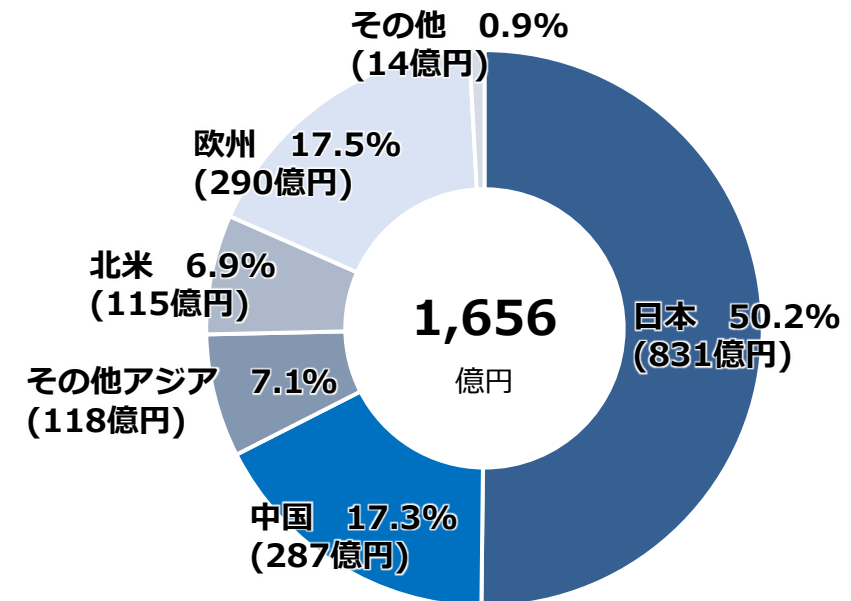
減収に伴う減益

2024/12 上期実績



海外売上高	778億円
海外売上高比率	51.0%

2025/12 上期実績



海外売上高	825億円
海外売上高比率	49.8%

■ 為替レート

(円)

	2024/12 上期実績	2025/12 上期実績	2025/12 期首計画	2025/12 7/31修正計画	2025/12 下期計画
USD	154.06	147.48	140.00	143.74	140.00
RMB	21.52	20.47	19.50	19.99	19.50
EUR	166.12	162.24	155.00	158.62	155.00
CHF	172.57	172.51	165.00	168.76	165.00

■ 為替感応度（為替が1円変動したときの影響額）

(百万円)

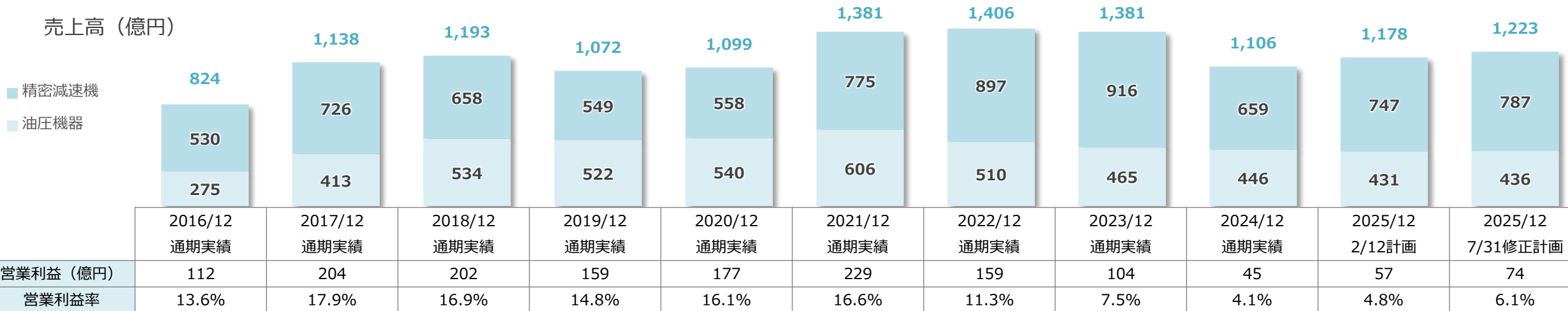
	2025/12 上期実績	
	売上	営業利益
USD	69	24
RMB	1,075	90
EUR	38	軽微
CHF	116	軽微

2025/12 7/31修正計画	
売上	営業利益
183	51
2,051	107
79	16
253	11

コンポーネントソリューションセグメント (CMP)

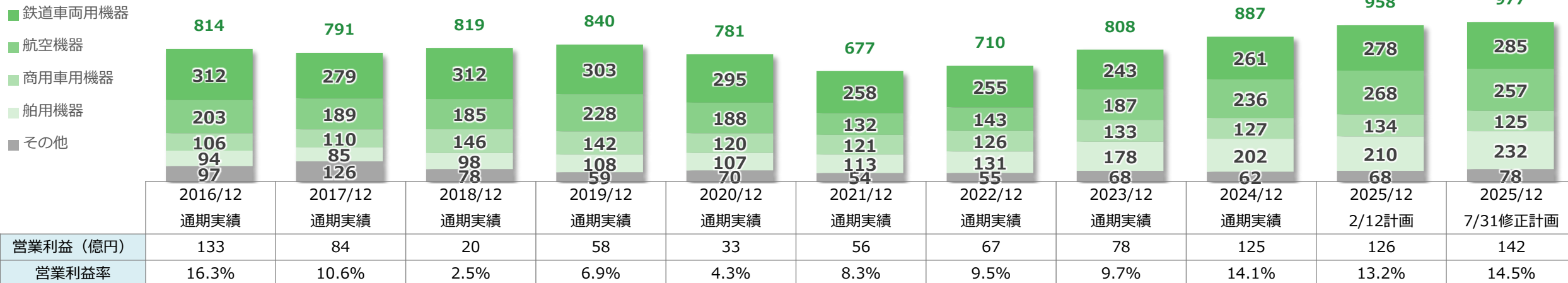
Innovation In Action
Vision 2030

売上高 (億円)



トランスポートソリューションセグメント (TRS)

売上高 (億円)

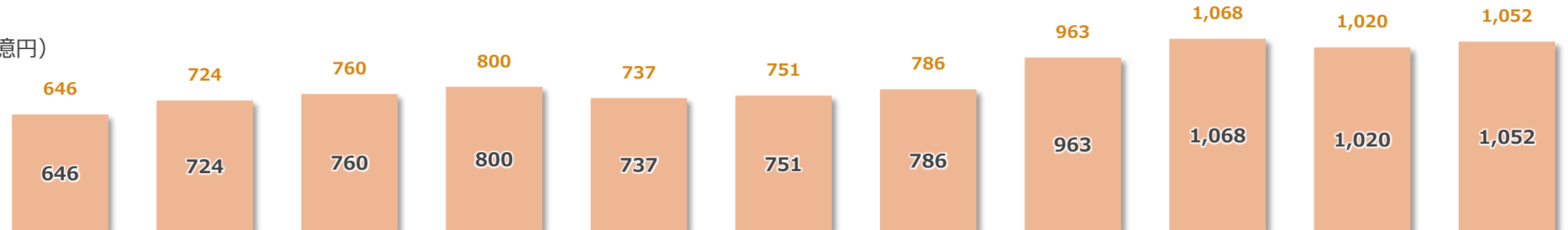


アクセシビリティソリューションセグメント (ACB)

Innovation In Action
Vision 2030

売上高 (億円)

■ 自動ドア



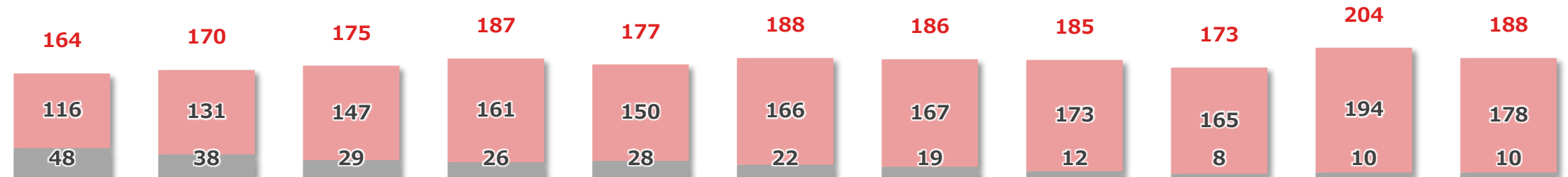
	2016/12 通期実績	2017/12 通期実績	2018/12 通期実績	2019/12 通期実績	2020/12 通期実績	2021/12 通期実績	2022/12 通期実績	2023/12 通期実績	2024/12 通期実績	2025/12 2/12計画	2025/12 7/31修正計画
営業利益 (億円)	51	52	46	86	77	76	28	62	90	91	94
営業利益率	7.9%	7.1%	6.1%	10.7%	10.5%	10.2%	3.6%	6.4%	8.4%	8.9%	8.9%

マニュファクチャリングソリューションセグメント (MFR)

売上高 (億円)

■ 包装機

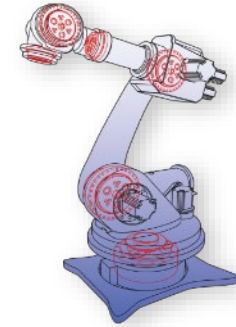
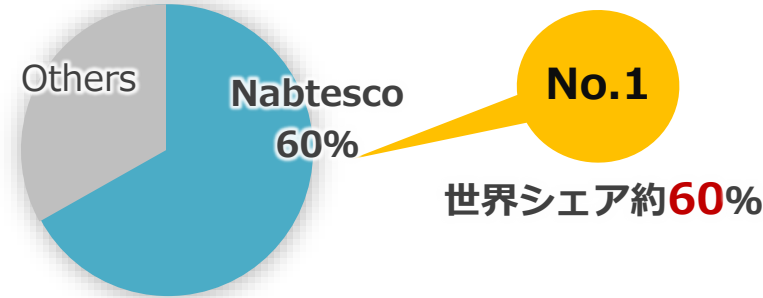
■ その他



	2016/12 通期実績	2017/12 通期実績	2018/12 通期実績	2019/12 通期実績	2020/12 通期実績	2021/12 通期実績	2022/12 通期実績	2023/12 通期実績	2024/12 通期実績	2025/12 2/12計画	2025/12 7/31修正計画
営業利益 (億円)	15	20	25	26	23	27	15	34	10	26	21
営業利益率	9.2%	11.6%	14.0%	13.7%	13.1%	14.5%	8.0%	18.3%	6.0%	12.7%	11.2%

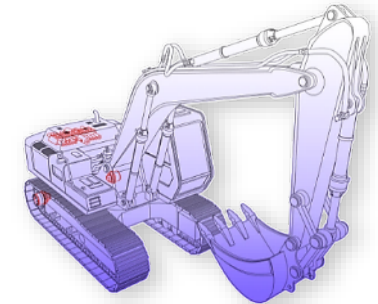
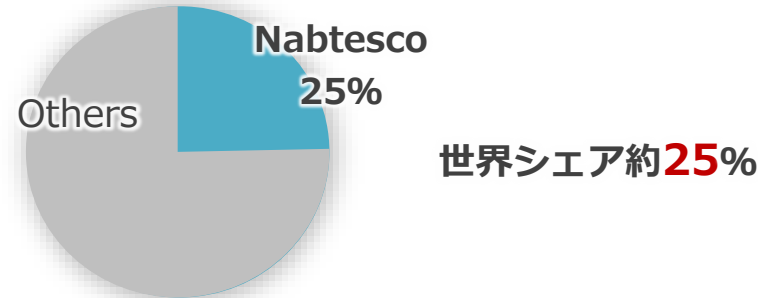
精密減速機

■ 中大型産業用ロボットの関節用途



油圧機器

■ 油圧ショベル用走行ユニット



主要顧客 (敬称略)

■ 精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)

工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

■ 油圧機器

走行ユニット：コマツ、住友建機、コベルコ建機、Sany (中)、XCMG (中)、Liu Gong (中)

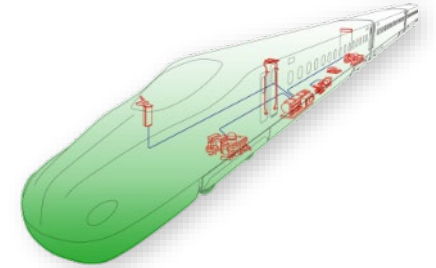
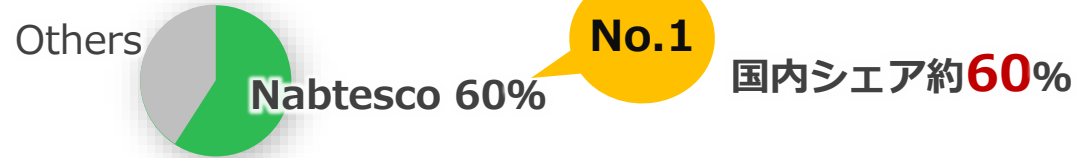
注：シェアは当社推計

鉄道車両用機器

■ 鉄道車両用ブレーキシステム

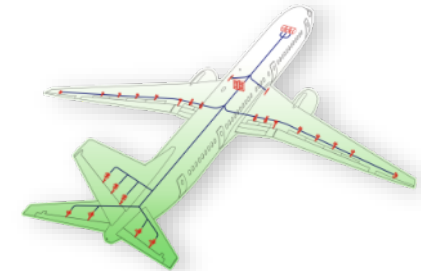
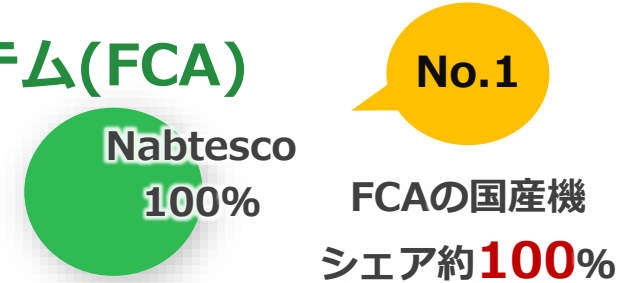


■ 鉄道車両用ドア開閉装置



航空機器

■ フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)



主要顧客 (敬称略)

■ 鉄道車両用機器

JR各社、民鉄各社、日立製作所、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け

■ 航空機器

Boeing (米)、川崎重工業、三菱重工業、IHI、防衛省、エアライン各社

商用車用機器

■ 商用車用ウェッジチャンバー

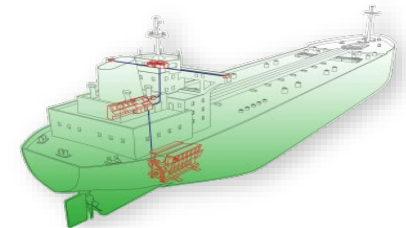
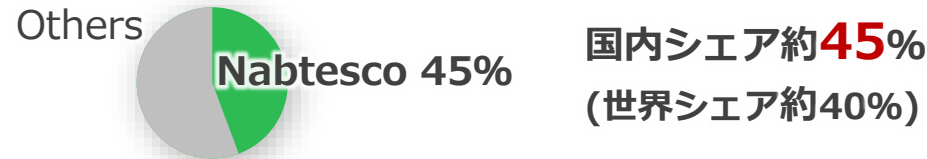


■ 商用車用エアドライヤー



舶用機器

■ 舶用エンジン遠隔制御システム



主要顧客 (敬称略)

■ 商用車用機器

いすゞ自動車、日野自動車、三菱ふそうトラック・バス、UDトラックス

■ 舶用機器

ジャパンエンジンコーポレーション、川崎重工業、マキタ、日立造船マリンエンジン、三井E&S
HD Hyundai Heavy Industries (韓)、Hudong Heavy Machinery (中)、Hanwha Engine (韓)

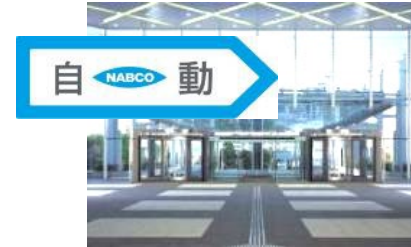
自動ドア

■ 自動ドア開閉装置



No.1

建物用自動ドア
国内シェア約**60%**
(世界トップクラス)



主要顧客 (敬称略)

各種建物用自動ドア：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関

プラットホームドア：JR・民鉄各社、各国都市交通向け

マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR) 主要製品

包装機

■ レトルト食品用充填包装機



No.1

国内シェア約**85%**



主要顧客 (敬称略)

■ 包装機

DM三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、北米飲料メーカー、中国食品メーカー

うごかす、とめる。

Nabtesco

